

国際バカロレア概要

(**International Baccalaureate : IB**)

国際バカロレアアジア太平洋地区委員
坪谷ニューエル郁子

Introduction

- 国際バカロレア (International Baccalaureate :IB)は、生徒を主体とした独自の教育理念に基づいて、1968年にスイスのジュネーブで設立された非営利教育機構です。
- 国際バカロレアが提供する3歳～19歳の生徒を対象にした4つのプログラムでは、生徒たちが将来、急速に進むグローバル社会を生き抜く上で、学び、そして働き続けるために必要な知性、人格、情緒、そして社会的なスキルを身に着けることができます。
- 国際バカロレアは、現在では世界147カ国、4,000を超える学校で導入され、1,164,000人以上の3歳から19歳の学生が、これら4つの画期的なプログラムで学んでいます。

The IB mission (理念)

- 国際バカロレア (IB) は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。
- この目的のため、IBは、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。
- IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけています。

The IB Learner Profile (学習者像)

IB learners strive to be:

- Inquirers 探究する人
- Knowledgeable 知識のある人
- Thinkers 考える人
- Communicators
コミュニケーションができる人
- Principled 信念をもつ人
- Open-minded 心を開く人
- Caring 思いやりのある人
- Risk-takers 挑戦する人
- Balanced バランスのとれた人
- Reflective 振り返りができる人



IBのプログラム

プログラム	設立時期	対象年齢	世界 (2015.8月)	日本 (2015.8月)
初等教育プログラム (PYP)	1997	3歳～12歳	1,304校	19校
中等教育プログラム (MYP)	1994	11歳～16歳	1,199校	9校
ディプロマ・プログラム(DP)	1968	16歳～19歳	2,893校	26校
※キャリア・プログラム (IBCP)	2012	16歳～19歳	68校	—

※キャリア・プログラム(BCP):主に就職や専門学校を目指す生徒のため、
社会に出て役立つスキルの習得を目指すプログラム

IB導入校の増加数/率

プログラム	2009年10月	2015年8月	増加率
初等教育プログラム (PYP)	522	1,304	249.81%
中等教育プログラム (MYP)	613	1,199	195.60%
ディプロマ・プログラム (DP)	1,821	2,893	158.87%
合計	2,956	5,396	182.54%

※複数のプログラムを導入している学校があるため、合計数は全体の学校数と一致しない

「国は、**国際バカロレア認定校**について、一部日本語によるディプロマ・プログラムの開発・導入を進め、**大幅な増加(16校→200校)**を図る。」

平成25年5月 教育再生実行会議第3次提言

「一部日本語による国際バカロレアの教育プログラムの開発・導入等を通じ、**国際バカロレア認定校等の大幅な増加を目指す(2018年までに200校)**。」

平成25年6月 閣議決定

「日本再興戦略-JAPAN is BACK-」

産業界からの提言

「語学力のみでなく、コミュニケーション能力や異文化を受容する力、論理的思考力、課題発見力などが身に着くIBディプロマ課程は、グローバル人材を育成する上で有効な手段の一つである。」



「ディプロマ取得者に対する社会における適切な評価も重要であり、大学入試における活用や、企業も採用時や人材活用において適切に評価することなどが重要。」

平成25年6月 日本経済団体連合会
ーグローバル人材の育成に向けたフォローアップ提言ー
「世界を舞台に活躍できる人づくりのために」

DPのカリキュラム①

6のグループで構成：各グループから1科目ずつを選択し、計6科目を2年間で履修。
(ただし、グループ6は他のグループからの科目に代えることも可能。)
赤字は日本語DP対象科目。

グループ名	科目別
1. 言語と文学	言語A: 文学、言語A: 言語と文学、文学と演劇※
2. 言語習得	言語B(標準レベルおよび上級レベル)、初級語学、古典語学
3. 個人と社会	ビジネス、 経済 、 地理 、グローバル政治、 歴史 、心理学、環境システム社会※、情報テクノロジーとグローバル社会、哲学、社会・文化人類学、世界の宗教
4. 実験科学	生物 、 化学 、 物理 、デザインテクノロジー、環境システムと社会※、コンピュータ科学、スポーツ・運動・健康科学
5. 数学とコンピューター科学	数学スタディーズ(標準レベル) 、 数学(標準レベル) 、 数学(上級レベル) 、 数学(最上級レベル)
6. 芸術	音楽 、 美術 、 演劇 、ダンス、フィルム、文学と演劇※

DPのカリキュラム②

6科目に加えて、以下の3つのカリキュラムも履修

カリキュラム	概要
1. 課題論文	学習している科目に関連した研究課題を設定して自ら調査・研究を行い、論文としてまとめる(日本語の場合は8,000字)
2. Theory of Knowledge (TOK) (知識の理論)	学際的な観点から個々の学問分野の知識体系を吟味し、理性的な考え方と客観的精神を養う。さらに、言語・文化・伝統の多様性を認識し国際理解を深めて偏見や偏狭な考え方を正し、論理的思考力を育成する。最低100時間の学習。
3. Creativity,Action,Service(CAS) (創造性・行動・奉仕)	教室以外の広い社会で経験を積み、様々な人と共同作業することにより、協調性、思いやり、実践の大切さを学ぶ。最低150時間の学習

DPの修了資格取得条件等

- 合計45点満点中、原則として24点以上で国際バカロレア資格 (IBディプロマ) を取得

6科目 : 各7点 (計42点)

論文課題、TOK、CAS : 計3点

- 平均点は毎年30点前後
- IBディプロマの取得率は、毎年8割程度

- 結果の通知 :

5月に統一試験 (北半球) : 7月5日

11月に統一試験 (南半球) : 1月5日

※日本語DPは11月の統一試験を予定

世界の大学における入学審査

- 英国、オーストラリア、インド、ニュージーランド、スペイン等の国では、中央機関等がIBを含む各資格のスコア等の統一的な換算表を作成。
- 英国では、英国入試機構(UCAS)が、IBスコアを独自のTariff Pointに置き換えて換算表を作成するとともに、大学ごとに出願が必要なTariff Pointの「目安」も作成し、受験者に提供。(下記英国の例)

IB スコア	Tariff Points
45	720
44	698
43	676
42	654
41	632
40	611

米国大学における入学者選抜の例①

ボストン大学

出願要件等

- ・ 高校において15単位(通年)を習得することが要件とされ、20単位の習得が推奨されている。20単位には、英語(4)、数学(3~4)、社会科学(3~4)、科学(3~4うち実験科学3~4)外国語(2~4)が含まれる。アドバンストプレイスメント(AP)や国際バカロレア(IB)を含む大学進学予備プログラムの習得も要件とされており、その成績が最も重要とされている。

出願書類等

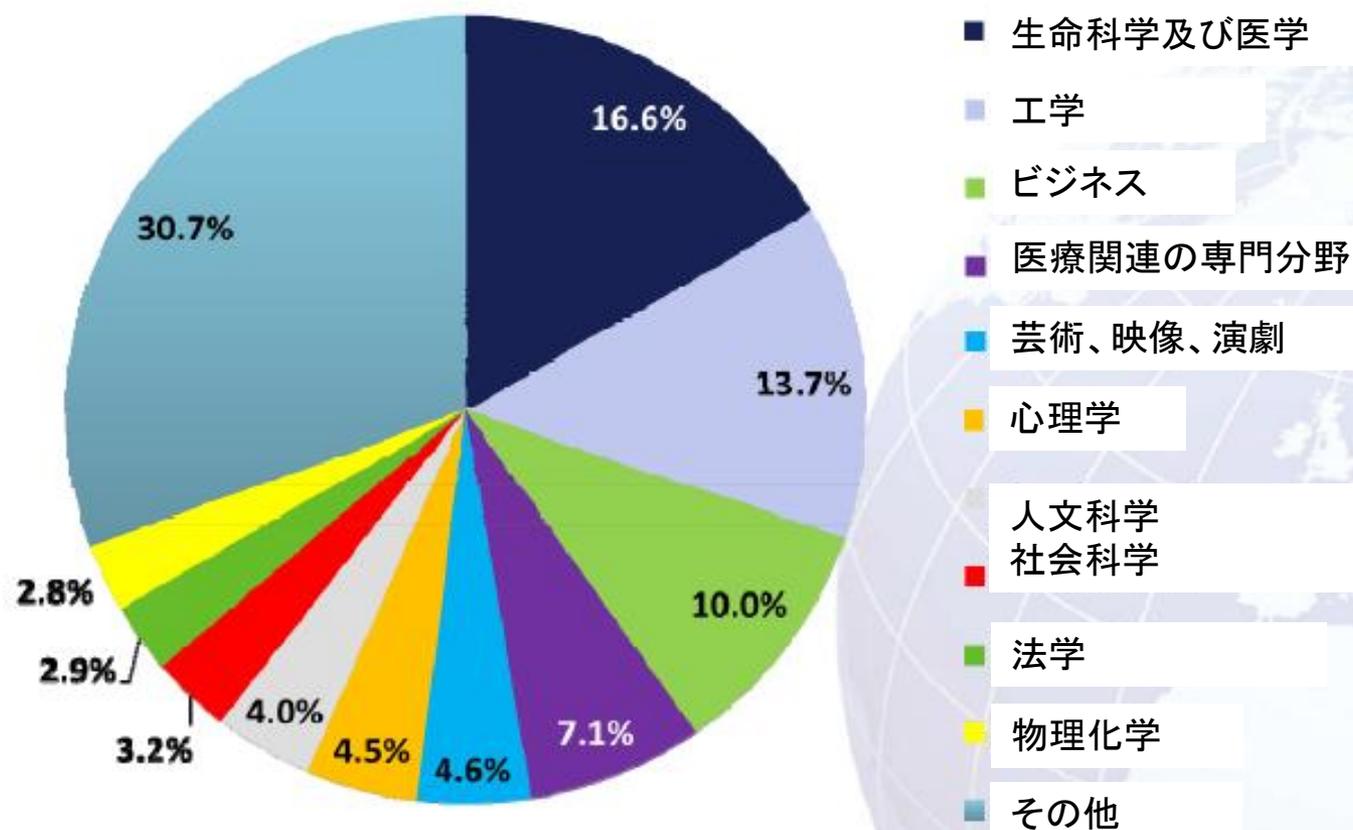
- ・ SAT reasoning又はACT with Writingの提出が求められる(学科によってはSAT教科テスト2科目も必要。)
- ・ 各大学共通願書の外、ボストン大学用願書、高校内申書、高校3年前期の成績、教員1名からの評価書、正式な高校の成績証明書。

合否判定方式

- ・ 総合的な評価であり、高校の成績証明書、標準試験の得点、推薦状、エッセイ、課外活動の5つが選抜資料。最も重要な資料は高校の成績証明書とされる。
- ・ 高校におけるGPAでは、APやIBなど大学進学予備プログラムをどの程度受けているかという履修科目選択の積極さがより重要とされている。

参考:大学入試センター入学者選抜研究機構入試評価部門報告書「大学入試の標準化、多様化、及び精密化」(平成25年3月)より、文部科学省作成

IB修了生の大学での専攻



※米国、カナダ、メキシコ、英国、インド、オーストラリアのIB生に関する調査結果
(母集団4,786名)2011/2012

●多面的・総合的に評価・判定する大学入学者選抜への転換

「大学は、入学者選抜において国際バカロレア資格及びその成績の積極的な活用を図る。

国は、そのために必要な支援を行うとともに、各大学の判断による活用を推進する。」

平成25年10月

教育再生実行会議第4次提言

国際バカロレアを活用した大学入試(平成27年10月現在)

全学部導入	一部学部導入	導入予定・検討中	検討中 (時期未定)
筑波大学 岡山大学 国際教養大学 立命館アジア太平洋大学 玉川大学 関西学院大学 工学院大学 鹿児島大学	東京外国語大学 横浜市立大学 慶應義塾大学 順天堂大学 立教大学 国際基督教大学 早稲田大学 大阪大学 上智大学	北海道大学(平成30年度) 東京大学(平成28年度) 京都大学(平成28年度) 広島大学(平成28年度) 九州大学(平成29年度) 東京芸術大学(平成28年度目途) 金沢大学(平成30年度以降) 京都工芸繊維大学(平成29年度以降) 東洋大学(平成28年度) 法政大学(平成28年度) 創価大学(平成28年度) 立命館大学(平成27年度以降) 東北大学(平成29年度) 大阪市立大学(平成28年度)	東京医科歯科大学 東京工業大学 名古屋大学 千葉大学 長岡技術科学大学 豊橋技術科学大学 熊本大学 会津大学 芝浦工業大学 明治大学 お茶の水女子大学

※大阪大学は平成29年度、上智大学は平成28年度より全学部で導入予定。

出典: 文部科学省ホームページ (http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/ib/1356318.htm)

国立大学の将来ビジョンに関する アクションプラン

- 国立大学協会は、推薦入試やAO(アドミッション・オフィス)入試、国際バカロレア(IB)入試などについて、入学定員の30%を目標に拡大することを改革プランに盛り込んだ。